

まつど更女だより

第30号

2025(令和7)年3月31日発行
編集・発行／松戸地区
更生保護女性会
発行責任者／太田麗子

はるかだん

児童養護施設
晴香園
HARUKAEN

根木内こども館
こどもショートステイ 乳幼児一時預かり
児童家庭支援センター・オリーブ



『社会を明るくする運動』



会長 太田 麗子

参加者が減少しつつある松戸市の『社会を明るくする運動』では、今年度壇上の関係者が黄色いホゴちゃんTシャツを着てセレモニーに臨みました。ステージが明るくなった、ほっこりしている、可愛いと参加者からの声があり、広報に一役買いました。

松戸市を含む千葉県内 37 の更生保護女性会では、ホゴちゃんぬり絵の配布、小学校門前での安全見守り、学童や保育園での読み聞かせ、保護司さんとともに薬物乱用防止の講習会などいろいろな場面で活動をしています。小さな時からこれらに繰り返し触れることにより、見守られていると感じて、罪を犯しそうになった時、思い留まってくれたらと願います。

私たち更生保護女性会も活動内容が伝わりにくい部分がありますので、今後どのように広め、会員を増やしていくかが課題となっています。

感化院の歴史から 更生活動を考える

千葉保護観察所長
田中 大輔



戦前、感化院（現代の児童自立支援施設）という施設がありました。非行や家庭問題のある少年を保護する施設で、明治期の大阪の女性篤志家が始めた事業が普及したものです。

更生保護施設の原型の一つとされる感化院は県内4か所あり、司法省（法務省の前身）が所管していましたが、戦後は児童福祉が旧厚生省の所管となり、閉業や少年院への移行、事業転換をする法人もありました。

松戸にも松戸有隣学園という感化院があり、この

運営団体が後にチルドレンス・パラダイスという、いすみ市を拠点とする児童福祉系の社会福祉法人になりましたが、いまだに松戸市の稔台や上矢切で保育所を運営しています。

こうした歴史を見ると、子どもの健全育成は所管庁云々ではなく、地続きの問題であると感じます。更生保護女性会の活動が幅広いのは、子どもの課題に応じて活動すれば当然に行政の垣根を超えざるを得ないからですし、それができるのがまさに民間の強みであると思います。

こたにがわ学園訪問

山下 トモエ

小金原にある児童自立援助ホーム「こたにがわ学園」を、会長他4名で訪問し、園長の小谷川元樹さんからお話を伺い、施設の一部を見学させていただきました。

現在10名が生活しており、清潔で過ごしやすい環境が整っていると感じました。施設は4つのフロアに分かれ、入り口も別々になっており、一人ひとりのプライバシーが守られた安心して暮らせる完全個室になっています。学校に通いながら就労し、

生活費の一部や自立への準備もされていることがわかりました。

原則18歳（最長22歳）までとなっていた年齢の上限が令和6年4月から撤廃され、個々の状況や本人の意向を踏まえて、年齢に関わらず自治体が適切だと判断する時期まで支援を受けられるようになったそうです。また、中途退所者がいないと聞き、スタッフの方々の支援や見守りがしっかりされているのだと感じました。ホームを出た後、経済的・精神的に自立した生活を送って欲しいと強く思いました。



施設見学 茨城農芸学院 〈一日バス研修に参加して〉 吉野 とし子

9月26日、会員20名の皆さんと、牛久市にある茨城農芸学院へ視察研修に行きました。

学院の定員は150名。主に関東・甲信越の家庭裁判所の審判で少年院送致の決定を受けた、おおむね15歳から20歳未満の少年を収容する男子少年院です。

特色は、社会復帰支援が充実していることです。特に資格取得には力を入れており、原動機付自転車などの運転免許証や、高等学校卒業程度の認定試験などの公的資格が取得可能です。また、東日本の『建設機械運転資格取得訓練』が行われる広域センターに指定されています。

広々とした敷地には、地方自治体と連携した、ぶどうハウスや特別活動のための陶芸施設、土俵までありました。

学院長から、学院の教育について、ご自身の

体験を取り入れながら説明をして下さいました。「元気に伸びる 更生の芽」学院のスローガンが90分のお話にぎっしり詰まっており、充実した研修となりました。



第一ブロック研修会に参加して

北原 和子

11月6日、太田会長他4名で習志野市役所にて行われた第一ブロック研修会に参加しました。習志野市更女会の皆様が温かく迎えてくださり、全体会、講演、分科会と内容の充実した半日でした。

秋山首席保護観察官より更女会の歴史、再犯防止に関する統計などの講演がありました。更生保護ボランティアの中でも、更女の認知度はあまり高くなく、どのように広報活動をしていけばよいのかと問題提起があり、やりがいのある更女の活動こそ、次世代に引き継いでいきたいとお話がありました。

分科会では、6ブロックでそれぞれの地域での活動や問題点などを出し合いました。どの地域でもパトロールや読み聞かせ、しおり人形作りなど、子どもたちとのふれあいを大切にされているようでした。

お一人お一人それぞれが持っている知識や特技、地域とのつながりを活かしながら、楽しんで活動されている姿が印象に残った研修となりました。



習志野更女会からの手作りプレゼント

三二集会 〈更生保護女性会の方々をお迎えして〉 大川 恵子(栄町町会婦人部)

この度、栄町町会婦人部の集いに、以前私がお世話になっていた更生保護女性会の方々にお越しいただきました。

初めに更生保護女性会とは何か、またどんな活動をしているかをわかりやすく話して頂きました。

それから「君は一人じゃない」のビデオを見ました。地域から犯罪者や非行少年を出さないと同時に、非行に陥った人たちが二度と過ちを繰り返すことのない様に支援をしている団体であること。そのほかにも社会を明るくする運動に参加し、地域との連携、協働活動をしている事のお話をうかがいました。婦人部の人達は、更生保護女性会の話初めて聞くので、とても興味深く感じられた様です。

人々とのつながりの重要性、身近な地域のささえあいが必要であると感じました。歳を重ね社会との絆が、疎遠になりがちな私たちですが、少しでも町への恩返しが出来るとはという気持ちになりました。



ふれあい広場

毎年10月・11月に掛けて、地区社会福祉協議会主催のふれあい広場が開催されます。

今回も、矢切地区、小金地区、松飛台・五香地区の会場に出展させていただき、黒糖やゆり根の販売、ミニバザーなどをしながら更女のPRを行いました。

黒糖・ゆり根については、どこの会場でも常連さんが待っていてくださり、売れ行きは好調で、閉会前に完売の状態です。



矢切地区



小金地区



松飛台・五香地区



表彰おめでとうございます

第67回 千葉県更生保護大会

日時：令和6年11月21日(木)
場所：銚子犬吠埼ホテル

◇千葉保護観察所長感謝状
恩 田 かすみ 様

◇千葉県更生保護女性連盟会長表彰
高 橋 美 穂 様



令和6年度 「新入会員研修会」に参加して

安蒜 登志枝

更生保護女性会に参加して間も無い時期でしたが、会の持つ意義や志など、これからの活動に向けて大切な話を聞かせていただく事が出来、大変感謝しております。

大雨の影響により時間を短縮されたことが残念でしたが、今回の研修を通して、更生保護女性会には長い歴史があり、あまり知られていない会ではありますが大切な活動を担う会である、ということ学ばせていただきました。

これから地域の問題解決に向けて少しでもお役に立てます様、学ばせていただきながら活動を続けて行ければと思っています。



吉野 とし子 千代崎 順子
安蒜 登志枝

更生保護関連団体交流会



2月7日ゆうまつどにて、松戸地区保護司会、松戸地区更生保護協力雇用主会、聖徳大学BBS会そして松戸地区更生保護女性会の4団体の代表が集まり、意見交換会を行いました。

保護司会や協力雇用主会から、以前のように皆が集まって各団体ともっと交流していきたいという思いがあるとのことでした。BBS会、更女会も同じ思いであることを確認しました。

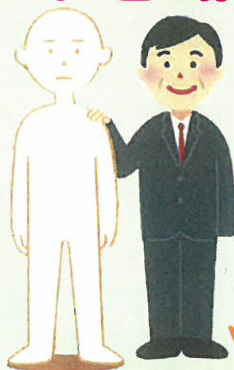
～立ち直りを支える～「地域のチカラ」

協力雇用主

過去に罪を犯したことを承知の上で雇用し、その立ち直りを支援する事業主です。

更生保護施設

刑務所出所後、帰る場所がない人たちに宿泊場所を提供し、自立に向けた生活指導を行う民間の施設です。



更生保護女性会

女性の立場から、地域における犯罪予防の活動や、子ども達の健全育成のための子育て支援活動などを行うボランティアです。

BBS会

様々な問題を抱える少年と、兄や姉のように身近な立場で接することで、少年の成長を助ける青年ボランティア団体です。

保護司

罪を犯して保護観察を受けることになった人の生活を見守り、様々な相談にのるほか、時に助言なども行う民間ボランティアです。犯罪を予防するための地域活動などにも取り組んでいます。